

Japanese Utility Model Application

11)Publication number : HEI 01-98917

(43)Date of publication of application : 03.07.1989

(51)Int.Cl.

F 16 C 19/38

F 21 D 9/08

F 16 C 19/56

33/60

(21)Application number : SHO 62-195170 (71)Applicant : KOYO SEIKO CO., LTD.

(22)Date of filing : 23.12.1987 (72)Inventor : ADACHI, TAKEHIRO

(54) COMPOSITE CYLINDRICAL ROLLER BEARING

*** PAGE BLANK (cont.)

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-98917

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)7月3日

F 16 C 19/38
E 21 D 9/08
F 16 C 19/56
33/60

6718-3J
C-8005-2D
6718-3J
8312-3J

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 複合円筒ころ軸受

⑯ 実 願 昭62-195170

⑰ 出 願 昭62(1987)12月23日

⑱ 考 案 者 安 達 丈 博 大阪府大阪市南区鰻谷西之町2番地 光洋精工株式会社内

⑲ 出 願 人 光洋精工株式会社 大阪府大阪市南区鰻谷西之町2番地

⑳ 代 理 人 弁理士 青 山 蓑 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

外周に環状の嵌合部を有する内輪と、内周に上記内輪の嵌合部に嵌合する環状の嵌合部を有する外輪と、上記内輪の嵌合部と上記外輪の嵌合部との軸方向に対向する面の間に配置される保持器に保持された2組のスラストころと、上記内輪と外輪の対向する周面の間に配置される保持器に保持されるラジアルころとを備えた複合円筒ころ軸受であつて、

上記内輪は、軸に垂直な平面で分割される第一内輪部と第二内輪部とを少なくとも有し、上記第一内輪部と第二内輪部は、夫々上記軸を含む平面で少なくとも2つに分割され、上記第一内輪部および第二内輪部は、半径方向の分割面の位相を互いにずらして一体に分離可能に結合され、

上記外輪は、軸に垂直な平面で分割される少なくとも第1外輪部と第2外輪部を有し、上記第1外輪部と第2外輪部は夫々上記軸を含む平面で少なくとも2つに分割され、上記第1外輪部と第2外輪部は、半径方向の分割面の位相を互いにずらして一体に分離可能に結合され、

上記内輪部の内周または外輪部の外周にはギヤが形成され、上記ギヤが形成された内輪部または外輪部を少なくとも2つに分割する上記軸を含む平面は、上記ギヤの歯底を通り、

上記スラストころを保持する各保持器は、夫々軸を含む平面で分割され、

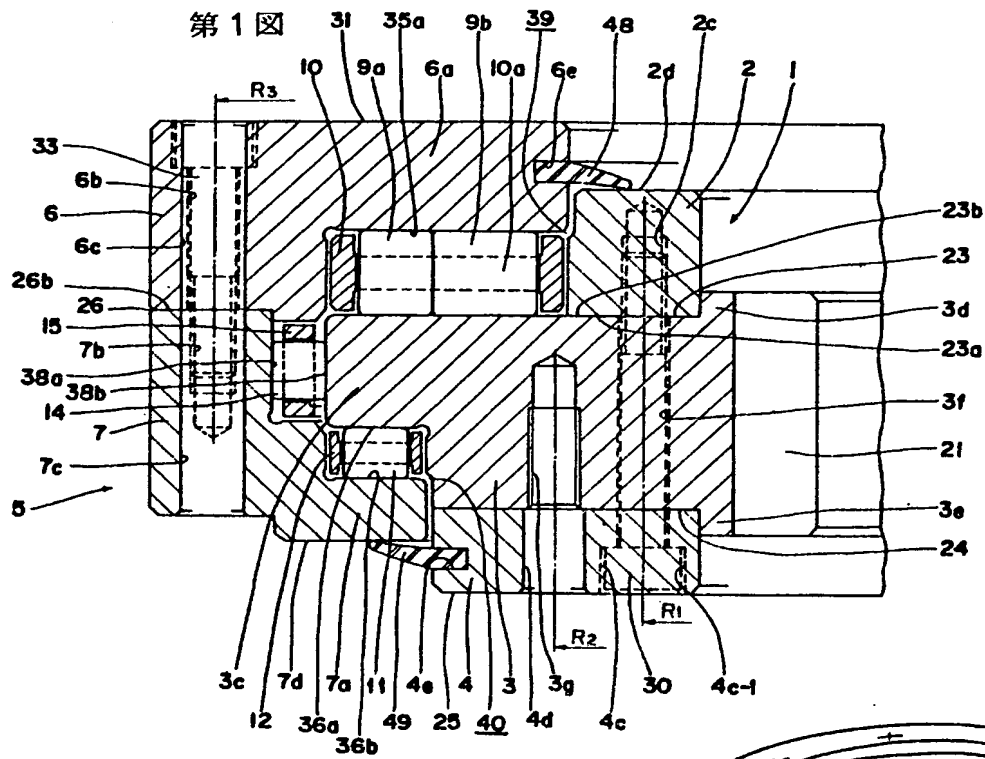
上記ラジアルころを保持する保持器は、軸を含む平面で分割されていることを特徴とする複合円筒ころ軸受。

図面の簡単な説明

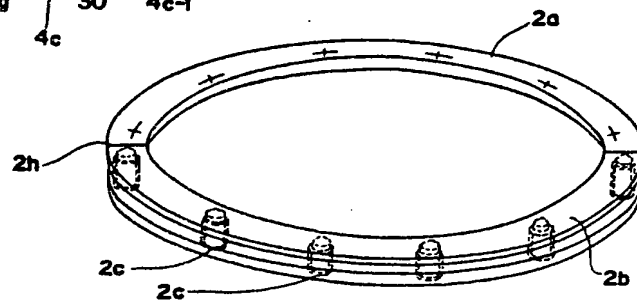
第1図はこの考案の複合円筒ころ軸受の一実施例の断面図、第2図は内輪の結合の斜視図、第3図は外輪の結合の説明図、第4図は従来の複合円筒ころ軸受の断面図である。

1……内輪、2……第1内輪部、3……第2内輪部、4……第3内輪部、5……外輪、6……第1外輪部、7……第2外輪部、9a, 9b, 11……スラストころ、10, 12……スラストころの保持器、14……ラジアルころ、15……ラジアルころの保持器、21……ギヤ、48, 49……シール。

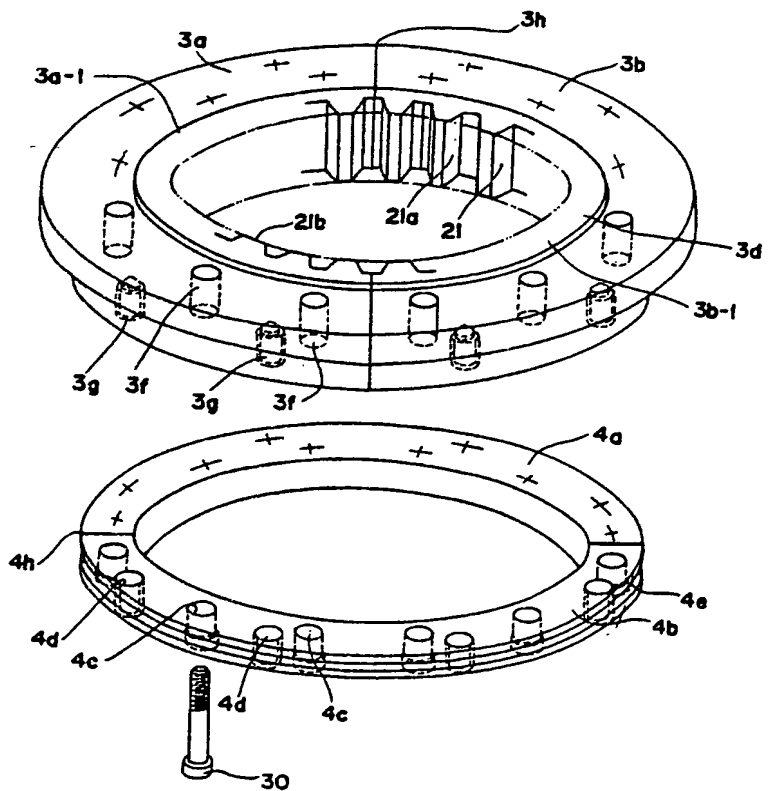
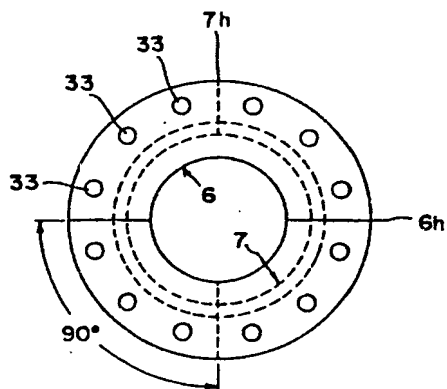
第 1 図



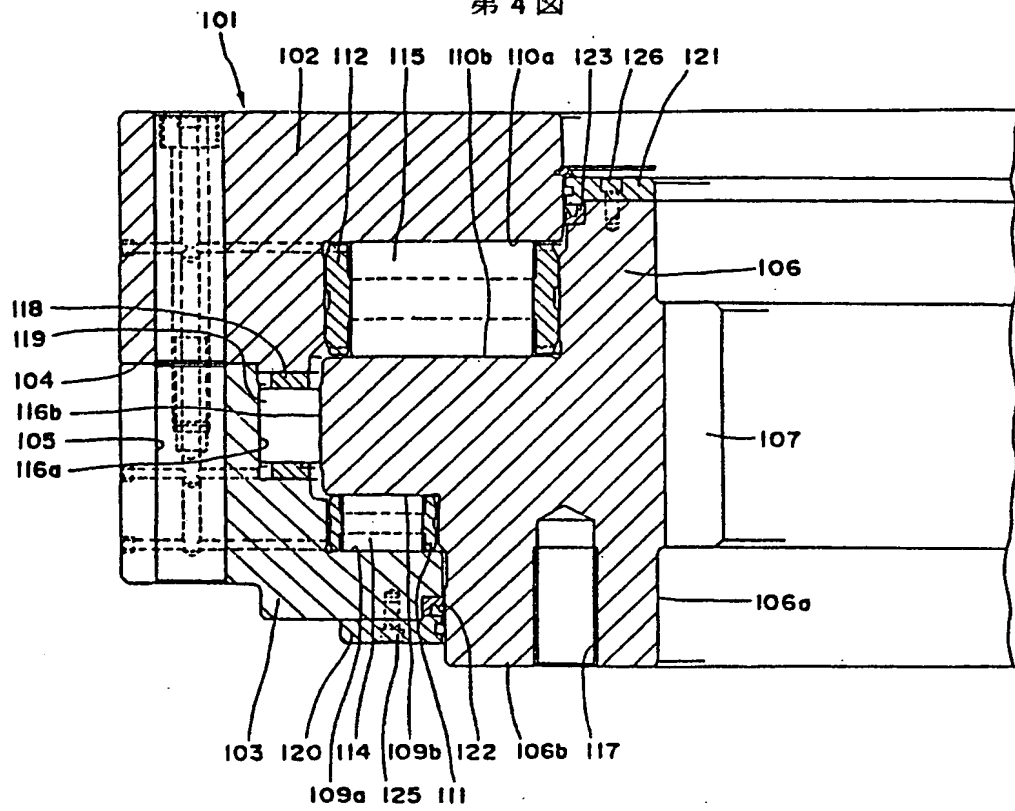
第 2 図



第 3 図



第4図



THIS PAGE BLANK (USPTO)